

酸性成分の空間分布調査

嘉村 久美子，中川 史代，梅本 雅之，杉山 邦義

酸性雨（湿性降下物）が地球環境へ影響を与えることが以前から示唆されているが，ガスやエアロゾルといった酸性降下物（乾性降下物）による影響も無視できないことから，山口市において通年で乾性降下物の調査を実施した．酸性成分としては塩酸，硝酸及び硫酸，さらにアンモニアは大気中では塩基性であるが地表面に沈着すると硝酸化することから環境の酸性化に関わるため，これらの成分について分析を行った．

本調査地点のガスとエアロゾルによる酸性成分の沈着量を推定した結果，環境の酸性化に以前より問題とされていた湿性降下物のみならず乾性降下物のうち特にガスの影響が無視できないことが判明した．

また，各成分の地域ごとの排出量と大気中の濃度を比較したところ，特にアンモニアについて相関があることがわかった．このことからアンモニア濃度は地域的な排出状況をよく反映しており，近傍汚染の影響を受けやすいと考えられる．

本調査地点での乾性降下物による沈着量は全国調査の結果と比較すると多くはないが，環境への影響実態や対策等を検討する上で貴重となるため，今後も継続した調査が必要と考えられた．